RKK熊本放送開局70周年記念

ミュシャ展マルチ・アーティストの先駆者

Alfons Mucha : Multitalented Artist

RKK 熊本放送開局 70 周年を記念し、2024 年 2 月 10 日に開幕する「ミュシャ展　～マルチアーティストの先駆者～」には、チェコ共和国在住のアール・ヌーヴォーの個人コレクター、ズデニェク・チマル博士のコレクションから、初来日の作品90点あまりを含む熊本初公開の170点が勢揃いします。

アール・ヌーヴォーの代表的な画家アルフォンス・ミュシャ（1860－1939）は、サラ・ベルナールの演劇ポスター「ジスモンダ」など魅力的で自信に満ちた女性を描いた数々のポスター作品で知られていますが、実際に彼が手掛けたジャンルは、劇場ポスター、書籍の挿絵、ポストカード、お菓子や香水のパッケージ、宝飾品などを中心に、油彩画、水彩画、素描、写真まで非常に多岐にわたりました。本展では、特にデザインの仕事に着目することで、マルチ・アーティストとしてのミュシャの先駆性を紹介します。

熊本にはおよそ30年ぶりにやってくるミュシャ作品。ミュシャが人生の後半に抱き続けた故郷チェコ・スロヴァキア共和国の複雑な歴史と向き合った作品には、ミュシャの祖国への思い、民族性へのこだわりがあふれ、動乱つづく今の世にもつよく訴えかけてきます。

＜開催概要＞

主催：RKK熊本放送

熊本市現代美術館（熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団）＜予定＞

会場：熊本市現代美術館企画展示室I・II　熊本市中央区上通町2－3びぷれす熊日会館3F

Tel. 096-278-7500 Fax. 096-359-7892

休館日：火曜日

開館時間：10：00－20：00（入場は19：30まで）

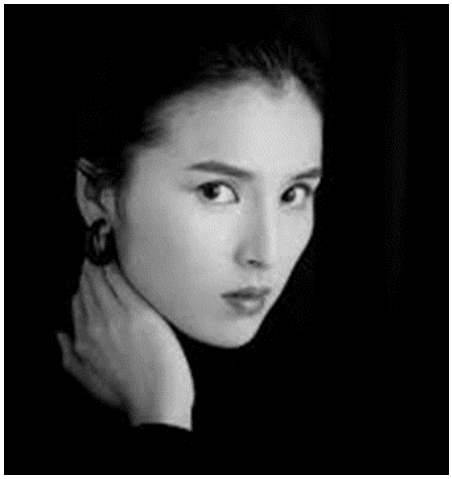
＜チケット発売スケジュール＞未定

＜関連イベント＞

「ミュシャ展　プレミアムコンサート～　花言葉　Langage　Des　Fleurs（ランガージュ・デ・フルール）」

ミュシャの絵画は”音楽的でもある”と言われます。アール・ヌーヴォーを耳で愉しむとしたら？
ふたりの音楽家にミュシャの作品「花言葉」からうけたインスピレーションを音楽で表現して頂きます！
花咲き始める春の陽気の中、美しい音楽とミュシャで幸せなひとときをおすごしください。

2024 年 3 月 20 日（水・春分の日）14 時開演（予定）
場所：熊本県立劇場コンサートホール
チケット：プレミアムコンサート付ミュシャ展入場チケット　　料金・発売スケジュール未定
出演：ソプラノ：田中彩子　　ピアノ　：有島京
ナビゲーター：冨澤治子学芸員　　司会：RKK 女子アナウンサー



「様々な線の戯れ（アラベスク）、文様、装飾は目に見える音楽である。

（詩人　ノヴァーリスの言葉）

「ミュシャ、あるいはアール・ヌーヴォーに目立つ”繰り返されるパターン”は音楽的な
リズム感に、優美でしなやかな曲線は心地よいメロディー・ラインに通じるものがある」

（千足伸行　著「ミュシャ　装飾デザイン集」から「はじめに～デザイナーとしてのミュシャ」）

書籍『装飾アルバム』より「花言葉」（pl.35）1900年／リトグラフ　チマル・コレクション

Ⅰ部：有島京（ありしまみやこ） ピアノ

熊本県人吉市出身。桐朋女子高等学校音楽科ピアノ科を卒業後、ホーラント・ヒトゴジチへ留学。
ポーラント国立ヒトゴジチ音楽院ピアノ科学士課程および修士課程を修了し、優秀生として表彰さ
れる。その後ホーラント政府奨学金を受け、同音楽院研究科を修了。これまでに家城由紀恵、竹内啓子、
カタシーナ・ポポヴァ＝スィトロンの各氏に師事。第 34 回霧島国際音楽祭にて音楽祭賞を受賞、
第 10 回タルムシュタットショパン国際ピアノコンクールにて第 5 位受賞。
第 17 回ショパン国際ピアノコンクール出場後、ヒトゴジチ市長より特別賞を受賞。トイツ・ユルツェンにて
行われた国際サマーアカデミーにて 2 度にわたりコンサートスカラシップを授与される。ポーランド、
ドイツ、デンマーク、イタリア、 台湾、日本など各地で演奏を行っている。これまでに九州交響
楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、クラクフ室内管弦楽団、ヒトゴジチフィルハーモニー管弦楽団などと共
演。2019 年には第 63 回クジュタート・メニューイン音楽祭に出演、フェスティハバルオーケストラとショパン
ピアノ協奏曲第 2 番を共演、 ソロリサイタルも行なった。同年自身初となるソロアルハバム（Takemitsu
Szymanowski Chopin Serocki – works for solo piano Miyako Arishima）をスタインウェイレー
ベルよりリリースした。2020 年よりサントリーホール室内楽アカデミー第 6 期フェローとして活動しており、
室内楽演奏にも積極的に取り組んでいる。

Ⅱ部：田中彩子（たなかあやこ） ソプラノ

18 歳で単身ウィーンに留学。 22 歳でスイスベルン州立歌劇場にて同劇場日本人初、
且つ最年少でのソリスト・デビューを飾る。
国際ベルヴェデーレ・オペラ・オペレッタ・コンクールにてオーストリア代表として本選出場を果たし、
その後ウィーンをはじめロンドン、パリ、ブエノスアイレス等世界で活躍の場を広げている。
作曲家エステバン・ベンセクリが彼女の声にインスピレーションを受け作曲した
「コロラトゥーラ・ソプラノとオーケストラのための 5 つのサークルソング」でアルゼンチン最優秀初演賞を受賞。
同アルバムは英国 BBC クラシック専門音楽誌にて 5 つ星に評価された。
日本でも 2014 年エイベックス・クラシックスより CD を発売し、デビュー以来、
全国でリサイタルツアーなどの演奏活動を重ねており、国内外で活躍している。
TBS「情熱大陸」や NHK BS「ザ・ヒューマン」などのメディア出演も多数。
Newsweek 誌「世界が尊敬する日本人 100」に選出。 京都府舞鶴市出身、ウィーン在住。
2021 年 舞鶴市文化親善大使に就任
2022 年 京丹後市国際交流アドバイザー、宮津市文化芸術ブランドアンバサダー就任。